

平成29年度 行政評価表

担当課	議会事務局
章名	第5章町民と行政が協働するまちに暮らす
節名	第3節経営的視点に立った行政運営
施策名	1. 効率性の高い行政運営

施策の内容	目指す姿	安定した自治体経営ができる行政運営の仕組みが整い、あわせて質の高い行政サービスが提供されています。
	現状と課題	町の行財政を取り巻く環境は厳しさを増しています。限りある財源を効率的に運用し、町民が満足できる行政サービスの提供が必要です。 これまで本町では、行政改革や事業評価の導入等により、事務の効率化に努めてきました。今後においても、社会経済情勢の変化や厳しさを増す財政状況を踏まえ、行政改革をさらに進め、その中で選択と集中を徹底し、戦略的な行政経営を目指す必要があります。また、図書館の相互利用や消防指令センターの共同運営など、これまで周辺自治体との連携事業を進めてきましたが、今後はさらなる連携を検討する必要があります。

まちづくり目標値	指標名	現状(平成25年度)
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

目標値への推移	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	目標(平成31年度)
(1)					
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
	9,039	決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
		7,893	0	0	0	7,893

今年度の施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)	様々な議員研修や先進地の視察など、政策研究を積極的に行った。また、平成25年3月に伊奈町議会基本条例を定め、開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指すものとした。議会広報委員会では議会報告会の開催や、わかりやすい広報を作成できるように研鑽した。議員の意識改革が醸成され、政務活動費等について各会派から出た意見を検討するなど、積極的な意見交換を行い議会改革を推進している。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	議会基本条例の制定を契機として、議会改革の取り組みが進められ、議員個人の意識改革も求められている。
	住民ニーズの変化について	住民がより参加しやすくなるように、休日及び夜間に議会を開催することや、情報発信の多様化等、より開かれた議会が望まれてきている。
	展開した事業は適切であったか	議会改革に向けた議会運営に寄与することができ、適切であったと思われる。
	施策を達成するうえでの障害について	議場や傍聴環境の整備等、財政的な問題が出てくるとと思われる。

次年度以降における施策の具体的な方向性	引き続き、議会基本条例に基づく議会運営の改革に推進していく。また、議場の音響設備の改修や議会のICT化についても検討する。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	開かれた議会を目指し町民の関心や理解を得るため、議会だよりの発行や議会報告会を開催している。また、平成29年度は、議場付近にテレビモニターを設置し、ライブ放映を行うなど、より一層の情報発信に取り組んでいる。
----------------------	---